

校長室だより 6月号④

水泳学習が始まりました。暑い時期にひんやりとしたプールに入るのは気持ちいいですが、水泳はとても個人差のある運動です。場合によっては、陸上での運動よりも危険を伴うこともあります。安全に気をつけ、一人一人が自分の目標をもって楽しみながら取り組めるようにしたいと思います。また、いざという時に、水をこわがらず体を浮かすことができれば、命を守ることができます。これは、子どもに身につけさせたいことです。

6/24 水泳学習始まりました

4・5・6年生が、プールのうじをしてくれたおかげです。

ありがとう！



きくことを大切に ～聞くから聴くへ～

先日の朝会で、子どもたちに「きく」ということについて話をしました。「きく」ことは学びの基本です。「きくためには、体のどこを使いますか？」とたずねると、即座に「耳」、「目」、そして「心」、「口」という答えが返ってきました。さすがです。子どもたちは、わたしが言おうとしていることを直感的に理解したのでしょうか。「耳」だけで「聞く」のは、音や声が耳にはいってくることで、その内容を知ることです。

でも、もっとスペシャルな「聴く」は目や心も使って、自分から進んで理解しようとする事です。しっかりと相手を見て、相手の気持ちや伝えたいことを考えながら、聴く事です。そういう「きき方」を授業中も心がけましょう。みなさんの学習のようすを観に行った時、そういうきき方をしていてほしいですと結びました。自分の思いや考えを伝えることも大切ですが、まわりの人の考えや特に自分とちがった意見を「きく」ことは、自分の学びを深めることにもつながります。

ところで、「きく時に口を使う」というのは、どういうことなのか。わたしは、口をつむって静かに人の話をきくということで理解しました。なるほど、きく時は自分はだまって、相手の話す時間を大切にする。つまり、人を大切にするということの意味しているのですね。子どもものすばらしい発想です。いつも勉強になります。